



平成28年度
第2回佐賀市まち・ひと・しごと創生
推進会議資料

資料3

(委員からのご意見)

平成28年12月21日
佐賀市企画政策課

(1) 経済の活力と安定した雇用の創出

- ◎商店街中小企業の活気あふれるまち
- ◎起業家(ベンチャー)のインキュベーターとなり、起業家を多く輩出する。
- ◎農産物輸出日本一の県(めざせ東洋のオランダ化農業)
- ◎派手さはないが伝統と文化が薫る観光資源をいかす
(ハコモノに金をかけるのではなく、既存の取組を生かしつつ「ストーリー」で勝負)
- ◎高齢者が日本一多く働くまち
- ◎中高齢者の文化・スポーツ・娯楽・催し・イベントの多いまち
- ◎食の街、食と食文化(食器の文化)のまち
- ◎佐賀市単独ではなく、県内の他市町との連携も必要【共通】

【主な取組】

- 企業誘致の推進(平成28年度5社)
- 佐賀大学、筑波大学と藻類産業化に向けた共同研究
- 大都市圏、海外への市産品の販路開拓
- 新規就農者の確保・集落営農組織の法人化
- 金融機関との連携(創業支援等)

(2) 市内への人の流れの創出

- ◎ほどよい田舎で生活しやすいことを維持・アピールする
- ◎大都市福岡へのアクセスのよさをアピールする
(ex. 住まいは佐賀、仕事は福岡)
- ◎子育てしやすさを前面にアピールする
- ◎いいものがあるのに宣伝下手なところを払拭する(佐賀の奥ゆかしさは失わずに)
- ◎十五歳に「立志式」が行われるまち
- ◎多様な個性や才能が活かされるまち(規模ではなく質の高さで)
- ◎市民一人ひとりの個性と才能が開かれる多様な文化を持った地方の田舎まち
- ◎子ども読書量日本一のまち

【主な取組】

- 転入者の住宅取得の支援
- 市外への通勤の支援
- 情報の発信
- 大学の地元就職率の向上をめざした取組との連携

(3) 子どもを産み育てやすい環境の創出

- ◎子育て支援策日本一をめざす
- ◎女性や高齢者の活躍の場の提供
- ◎子ども図書館・市民ホール・コンベンション施設・アスレチック・水辺と緑化公園の多い街

【主な取組】

- 不妊治療費負担の軽減
- 多子世帯の保育料負担軽減
- 就学援助費の前倒し支給

(4) 利便性が高く、持続可能な地域社会の創出

- ◎駅前には学生が雑談できるエリア、学生や社会人の知的好奇心を煽るようなエリアがあれば賑わいにつながる(県内各所から学生が集まってくる場所であり、かつ佐賀駅・同バスセンターが通学路の拠点となっているという強みを生かす)
- ◎健康寿命日本一のまち
- ◎女性や高齢者の活躍の場の提供【再掲】
- ◎医療介護福祉の公費日本一少ないまち
- ◎脱自動車社会、新移動手段の未来まち
- ◎子ども図書館・市民ホール・コンベンション施設・アスレチックー・水辺と緑化公園の多い街【再掲】
- ◎人生を楽しむ人の多いまち
- ◎より良いまち、より良くあろうとするまち

【主な取組】

- 佐賀駅周辺整備構想の検討
- 金融機関と連携した不動産ストック活用促進の検討